



横浜市立釜利谷東小学校 3月号

学校便り

令和2年2月28日

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

一年間ありがとうございました

校長 皆川 誠

令和元年度も残すところわずかになってまいりました。昼間の日差しには温もりが感じられ、春の訪れを教えてください。

今年の1月から2月を振り返ってみると、一年で最も寒い時期のはずが、例年に比べて暖かい日が多かったように思います。日本海側でも積雪量が記録的に少なくなっているようです。そのために、なかなかオープンできずにいたスキー場も多かったと聞いています。文字通りの「暖冬」になっていたようです。

また、新型コロナウイルス関連のニュースが、新聞やテレビなどで連日取り上げられています。その中で、「手洗いやうがい」の大切さが強調され、いつも以上に気を配っていらっしゃるのではないのでしょうか。ただ、感染拡大については、現時点では落ち着く気配がありません。そのため、本校では予定されていた3年生の八景島見学、6年生の東京見学、5年生の日産自動車工場見学は、子どもたちの健康と安全を考慮し、中止といたしました。

さて、私が本校に赴任してから、早いもので一年が経とうとしています。その間に、学校生活の様々な場面において、子どもたちの成長の様子を目にしてきました。

その中でも、大きな変化を感じているのが挨拶です。朝、子どもたちを出迎えていると、お辞儀をしながら、中には一度立ち止まって挨拶をしていく子がいます。また、「校長先生、おはようございます。」と、名前などを呼んで挨拶していく子や、わざわざ近くに寄って挨拶していく子など、年度初めに比べると、気持ちのよい挨拶のできる子がとても増えています。ですから、朝、子どもたちを出迎えることが、私にとっての楽しみの一つになっています。

しかし、私は現状に満足はしていません。「横浜で一番、挨拶の上手な学校」にするのが、私の目標です。朝に限らず昼間や下校時といった「いつでも」、自分から「先に」、そして、学校や家庭の中だけでなく、見守り活動や読み聞かせ活動をはじめとした日頃お世話になっている地域の方々といった「誰にでも」、気持ちのよい挨拶ができるまでに高めていきたいと考えています。そのためには、私たち大人が、子どもたちに良い手本を示さねばならないと、改めて思っているところです。

いよいよ3月19日(木)には、6年生68名が卒業していきます。また、25日(水)には修了式を迎えます。残された日々の中で、一年間のまとめをしっかりと行い、令和2年度を迎えたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、今年度の本校の教育活動を支えていただきましてありがとうございました。来年度も、よろしく願いいたします。